

このままで良いのか！ ～漁業地域の再生を考える～

財団法人 漁港漁場漁村技術研究所
第4回調査研究成果発表会

平成21年12月1日(火) 13:00～17:00

発明会館ホール

参加費無料

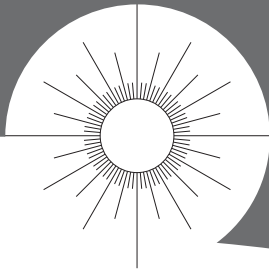
(定員250名/事前登録制)

The Japanese Institute of Technology on Fishing Ports, Grounds and Communities

主催：(財)漁港漁場漁村技術研究所

後援：水産庁





PROGRAM [プログラム]

13:00 ~ 13:10 開 会

主催者挨拶 (財) 漁港漁場漁村技術研究所 理事長 影山 智将
ご来賓挨拶 水産庁 漁港漁場整備部長 橋本 牧 氏

13:10 ~ 14:40 第一部 論文発表

「産業連関分析手法の事業評価への適用について」 第一調査研究部 主任研究員 後藤 卓治
「海水交換型防波堤に作用する外力分布の解明」 第二調査研究部 主任研究員 田島 憲一
「人工魚礁に蛸集するマアジの行動解析」 漁場と海業研究室 室長 伊藤 靖
「高齢化時代に対応した漁村社会における減災方策構築のための調査研究」 (研究助成)
..... 日本大学 理工学部 海洋建築学科 教授 畔柳 昭雄 氏

第二部

15:00 ~ 15:40 ①基調講演「限界集落と地域再生」

【講師】 大野 晃 氏 長野大学 環境ツーリズム学部 教授

15:45 ~ 17:00 ②パネルディスカッション「このままで良いのか！ ~ 漁業地域の再生を考える ~」

【コーディネータ】 婁 小波 氏 東京海洋大学 海洋政策文化学科 教授

○話題提供

「漁村の限界集落の現状」 (財) 漁港漁場漁村技術研究所 第一調査研究部 部長 浅川 典敬

「漁業就業者数の減少要因」 (財) 漁港漁場漁村技術研究所 第一調査研究部 主席主任研究員 林 浩志

「大規模漁場整備による漁業の再生 — 漁業者と一体となった漁場整備の推進 —」

..... (財) 漁港漁場漁村技術研究所 漁場と海業研究室 主任研究員 松本 卓也

○総合討論

【パネラー】 大野 晃 氏 長野大学 環境ツーリズム学部 教授

三浦 理紗 氏 知床羅臼町観光協会 事務局長

大江 和彦 氏 島根県海士町産業創出課 課長

江森 正典 氏 神奈川県小田原市漁業協同組合所属 漁業者

本田 直久 氏 水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課 課長

浅川 典敬 (財) 漁港漁場漁村技術研究所 第一調査研究部長

伊藤 靖 (財) 漁港漁場漁村技術研究所 漁場と海業研究室長

PROFILE [プロフィール]



大野 晃氏

●長野大学 環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科 教授

1940年生まれ。高知大学教授、北見工業大学教授を経て2005年から現職。

高知大学名誉教授。千曲川流域学会会長、日本村落研究会副会長、日本農業法学会理事などを歴任。専門は環境社会学、地域社会学。綿密なフィールドワークを経て1988年に「限界集落」の概念を提唱。2008年には「限界集落と地域再生」を執筆。



婁 小波氏

●東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 教授

1962年10月中国生まれ。1992年3月京都大学農学研究科農林経済学専攻博士後期課程修了。92年4月に近畿大学農学部助手、95年4月に同講師、97年4月に鹿児島大学水産学部助教授、99年10月に東京水産大学助教授を経て、2004年3月に東京海洋大学政策文化学科教授。『水産物産地流通の経済学』（単著）、『明日の水産業を考える』（共著）など著書・論文多数。また、漁業経済学会、地域漁業学会、日本フードシステム学会などの理事や、水産庁水産政策審議会特別委員、文部科学省科学技術審議会・海洋開発分科会委員、漁港漁場漁村技術研究所理事などを歴任。水産経済を専門とし、主に水産物流通・マーケティング問題、漁業管理・沿岸域管理問題、近年ではとくに海業による漁村地域活性化問題に取り組み中。



三浦 里紗氏

●知床羅臼町観光協会事務局長

1981年、札幌市生まれ。青山学院国際政治経済学部卒。2005年、大阪市内のベンチャー企業に就職し、2006年に道産食材の卸事業を開業。知床羅臼町観光協会が募集した事務局長に応募し、23人の中から選ばれて2007年4月に就任。漁業を中心とした観光による地域の活性化の一役を担っている。「知床羅臼町のネタ満載ブログ」はキョクチョウ・ブログとして各種話題が満載。



大江 和彦氏

●島根県海士町役場産業創出課 課長

1959年生まれ。1985年、海士町役場に採用。産業課、企画開発課、建設課等を経て、2004年4月に新設された地産地商課（課長）に配属。地域資源を活かした特産品の開発や集落におけるコミュニティビジネスの展開や「ターン者」による一次産業の立ち上げと独自の資金調達システム「海士ファンバンク」を創設。官民協働で「島生まれ・島育ち・隠岐牛」のブランド化を促進した。

2007年4月より、産業創出課長。主に「ターン」の起業支援や都市と農山漁村共生対流事業、プロガーやクリエイターと連携したブッシュ型地域映像配信のICT活用事業などを手がける。現在は、未利用の清浄海域を活用した巨大海藻養殖プロジェクトを計画。海藻成分を活用したサプリメント等の新商品開発や海藻発酵による水素エネルギーの活用、さらには海藻による都市と離島のカーボンオフセットなど、新たな視点で環境漁業に着手。ここ数年、島の産業創出には随所に「よそ者」が係わっており、こらからの地域力向上、地域再生には外部との連携は不可欠と考える。地域活性化の原動力は、「人財」の蓄積とネットワークに尽きるのではないだろうか。



江森 正典氏

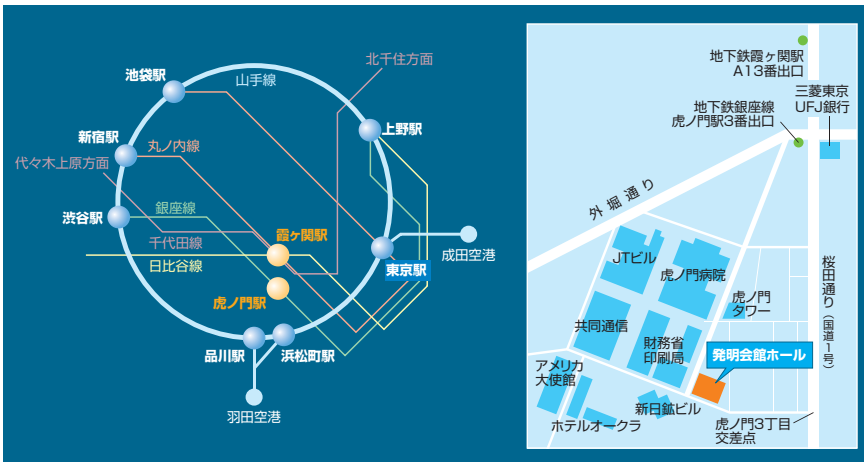
●神奈川県小田原市漁業協同組合所属 漁業者

1964年神奈川県生まれ。88年から4年間全漁連職員として勤務後、92年に退職し、小田原にて定置網の乗組員となる。93年に小田原市漁協の組合員になる。94年中古船を購入。97年に独立、自営漁家となる。

現在、0.8トンと11トンの2隻の漁船を所有し、刺網とタコカゴ漁を通常操業しながら、遊漁船業を兼業。毎週土曜日開催の「小田原・みなとの朝市」に随時出店。近郊の料理店や個人への直売にも取り組む。妻・一男2女の5人家族。

第4回
調査研究成果発表会

このままで良いのか！ ～漁業地域の再生を考える～



■会場のご案内

発明会館ホール

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14
TEL : 03-3502-5499

■交通のご案内

- 地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口…徒歩5分
- 地下鉄有楽町線有楽町駅A13番出口…徒歩13分

■お問い合わせ・申し込み先

(財) 漁港漁場漁村技術研究所 調査研究成果発表会担当：大塚（浩）、高木
Tel : 03-5259-1021 Fax : 03-5259-0551 Mail : takaki@jific.or.jp

参加事前申込書 (FAX : 03-5259-0551)

参加費：無料

切取不要

- インターネット (<http://www.jific.or.jp/>) でも参加申込みが可能です。
- ファックスでお申込みの場合は本状に必要事項をご記入の上、事務局 (FAX : 03-5259-0551) までご送付ください。
「*」印は必須記入項目です。
- 定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

①氏名・所属

*フリガナ

*氏名 (姓) (名)

*所属

部署 役職

②連絡先 * [勤務先 自宅]

*郵便番号

*所在地/住所

*TEL FAX

*E-mail

—— 登録情報は主催者が厳重に管理いたします。 ——